

提 言 書

日 時 令和元年6月4日（火） 午後1時30分から午後3時00分まで
場 所 紀の川市役所 本庁2階 市民協働スペース
出席者 仁藤 伸昌 箕輪 光芳 林 宏信 恩賀 要 野村 壮吾
折居 徳男 坂口 富子

審議事項

- ・平成30年度行財政改革推進計画の進捗結果について
- ・令和元年度行財政改革推進計画について

審議内容

平成30年度行財政改革推進計画の進捗状況について審議を行うとともに、令和元年度行財政改革推進計画について、住民サービスの著しい低下を招くことなく行財政改革を着実に進めることのできる内容になっているか審議を行いました。

人口減少に歯止めがかからず、市税や地方交付税の減収が見込まれるなど、今後も地方自治体にとって厳しい状況下にあります。

そのような中、第3次行財政改革大綱に掲げられた項目について、順次、重点的な取り組みが行われていることが確認でき、数値化できるものできないものがあるものの、着実な成果が得られていると判断できました。また、今年度以降の取り組みとして行財政改革大綱にもとづき、着実かつ具体的な取り組みが計画されていることも確認できました。

つきましては、下記のとおり委員会による提言を記しますので、今後の行財政改革への取り組みに反映されるようお願いします。

記

① 進捗結果の数値化について

行財政改革推進計画の進捗結果について、PDCAを意識し、数値を用いるなどより分かりやすく成果を示す工夫をしていただきたい。

② 職員の仕事に対する意欲の向上について

職員の仕事に対する意欲の向上に資する方法を検討し、実施していただきたい。

③ 補助金の整理合理化について

補助金を支出している団体に対し、紀の川市の補助金基準について説明し、周知を図っていただきたい。

④ 働き方改革(超過勤務の削減)について

超過勤務の効果的な縮減策を検討し、働きやすい環境を作っていただきたい。